



よう YOU 来た通信

1・2月

第19号

編集：発行
土佐清水市企画財政課
地域づくり支援係
移住促進担当



住所：土佐清水市天神町 11 番 2 号
TEL：0880-82-1181
FAX：0880-82-2882



新年あけましておめでとうございます。

本年もこれから移住をご検討の皆様、既に移住をされている皆様、
それぞれの立場にたった移住支援を行って参りたいと思いますので、
何卒よろしくお願い申し上げます。



土佐清水イベント情報

◆せっかくウォーク

日 時：1月31日(金) 14:00 出発

場 所：スタート・ゴールともレスト竜串前

内 容：所定のコース(5km)を竜串・見残し海岸を
見ながら歩きましょう！

参加費：1,500円(グラスボート乗船含)

※事前申込は1/10(金)迄！ 当日の申込みも同額です。

申込み：土佐清水市観光商工課 大会事務局 (0880-82-1212)



◆第15回花へんろ足摺温泉ジョン万ウォーク

日 時：2月1日(土)10:00 出発 ※17km・30kmは9:00 出発
2月2日(日)8:00 出発

場 所：スタート・ゴールとも足摺岬小学校

内 容：所定のコース(16日は6km・17km・30km、
2日(日)は7.5km・15km・22km)のいずれか、
足摺岬の景色を見ながら楽しみましょう！

参加費：土佐清水市民および小学生以下は無料

市外の方は一般2,000円、中・高校生1,000円の参加費が必要。

※事前申し込みは1/10(金)迄！ 当日申込みは+200円となります。

申込み：土佐清水市観光商工課 大会事務局 (0880-82-1212)



せっかくウォーク、花へんろ足摺
温泉ジョン万ウォークは、
右記QRコードからも
詳細確認ができます。



◆清水まちの魚市

日 時：2月8日(土)10:00~15:00

場 所：中央町商店街(土佐清水市中央町)

内 容：新鮮な魚の販売、軽トラ市(鮮魚、野菜、果物の販売)

お問合せ：土佐清水市観光商工課 (0880-82-1212)





移住相談員やっちゃんの 突撃!! インタビュー



今回は、天神町にあるパン屋さん「ポミエ」の一角で 2019.9.10 に OPEN した「朝ごはん屋さん」を紹介いたします (^o^) ★

この素敵なお店のオーナーの正木恭子さんは先輩移住者で、以前、YOU 来た通信 6 号で紹介した満尻のカフェ「FARM HOUSE CAFE」のオーナーでもあります。移住前は、神戸でも 13 年間カフェをされていた正木さん。

「朝ごはん屋さん」を始めた経緯は、以前同じ場所で友達の移住者の方が出していたお店が閉店すると聞き、壊すのは勿体ないから何か出来ないかなと考えたところ、昔、朝ごはん専門店をしたいなと考えていたことを思い出し、やってみようかなと決意したそうです。

最初は自信がなかったけど、「FARM HOUSE CAFE」とは違う立地での「朝ごはん屋さん」の営業は、新しい人たちとの出会いもあり、また「FARM HOUSE CAFE」は移住前に神戸でしていたカフェの延長みたいなところがあったけど、「朝ごはん屋さん」は自分でゼロから築き上げているから、新しい事に挑戦することが楽しくてたまらないと笑顔で話してくれました。

正木さんが移住して約 5 年、カフェを経営していると思うのが、移住者が早く地域に溶け込む為にも地元の人達と交流したいと思っているのはもちろん、地元の人も移住者と交流したいと思っているのを感じていて、「FARM HOUSE CAFE」や「朝ごはん屋さん」が自然と移住者と地元の人達の交流の場になれたらいいなと思っている。その為には続けて行く事が大事なので、これからもコツコツ続けていきたいとのことでした。

朝は 1 日の始まりなのでゆっくり過ごししながら、体が喜ぶ地元食材をたっぷり使った日替わりモーニングを食べに是非お立ち寄りくださいませ☆

出来たてホカホカのおにぎりは、お米のいい香りが立ち込め食欲をそそり、塩加減も絶妙でホッと心が落ち着く幸せな気分にしてくれる味でした (*^_^*) パン好きさんにはおススメの隣のパン屋さん「ポミエ」の食パンで作ったホットサンドもありますのでご賞味ください (^o^) ちなみにコーヒーは自家焙煎で、注文してからドリップしてくれるというこだわりぶりです！コーヒー好きさんは是非！！



モーニング menu

OPEN 7:00~10:00



高知暮らしフェア 2019・冬

高知県最大の移住相談会・高知暮らしフェアが
11月30日（土）大阪、12月1日（日）東京で
開催され、土佐清水市も出展してまいりました。

土佐清水市のブースには、大阪会場7組13名、
東京会場13組21名の方々が移住に関するご相談
にお越しいただきました。



移住を検討する上で、必要不可欠な街並み・住居・仕事についての情報収集をされている方が多く、その中でも地域おこし協力隊（現在も複数募集中）や漁業研修といった情報を求められている方が多くいらっしゃいました。

みなさん、各市町村ブースに積極的に相談されご自身の生活スタイルにあった移住を検討されていました。



第4回・KIP 定例会 in 梼原町

高知県内の各移住促進スタッフの研修の場として開催
されている高知県移住促進プロジェクト（通称：KIP）の
第4回定例会が開催されました。今回は、梼原町の改修
された空き家物件と、お試し住宅の見学との移住定住の
取り組みについての発表でした。

梼原町が借り上げ（10年間）整備した移住者向け住宅を
48戸管理（現在の空きは3戸）しており、隣の愛媛県を
中心に移住があるとのことでした。



こういった取り組みは、土佐清水市の空き家バンクとは違った移住者向け住宅紹介のスタイルですが、単身の移住で広い住宅を必要としない方や、ご家族の移住である程度の広さを必要とする方といった移住者のニーズに合わせた移住者向け住宅を町が管理することで、スムーズに紹介できているようでした。

こうした取り組みは全国ネットの情報番組（2019年3月放送）でも取り上げられ、移住者向け住宅制度を使って移住されたご家族のインタビューなども放送され、これから高知県への移住をお考えの方々の貴重な情報となったのではないのでしょうか。

夢を叶崎・大津ツアー

移住する前に
集落を知ろう☆



ここ土佐清水市は、下加江地域・下川口地域・半島地域・市街地地域・三崎地域と大きく分けて5つの地域があり、人口約13,300人（令和元年11月末で）の方が暮らす街です。

移住を検討する上で、どの地域に住むかは後々とても重要になってきます。地域によってはお祭りの盛んなところや移住者が比較的多い地域などありますが、実際に住んでみない限り集落の特徴ってわかりにくいですよ。土佐清水市は266k㎡と広大で、集落によって行事や盆踊りの違いがあります。そんな多様性のあるこの街で行われた集落に特化したツアーに参加しました！



大月町に隣接する大津地区は、下川口地域で人口56名が暮らす小さな集落です。今回、個人事業として12月6日（金）にツアーを企画したのは本市の地域おこし協力隊でもある鈴木隊員！そんなワクワクなツアーに参加をしてきました。まず、大津の集落を歩きながら民家の特徴や地形を詳しく見て行くところからスタート。

大津地区では、屋根の下に矢ぎりに家紋が入り、屋根瓦の立派な家屋が数件あり、この特徴は他の集落では見られません。これは大月町からの流れで、ある1件の家がこのデザインを取り入れたこと

矢ぎりに家紋



で、流行っていったそうです！ 午後からは、ツアーのタイトルにもある叶崎へ。森のような細道の入り口を通っていくと叶崎灯台があり、今でも船の安全な道を照らしているそうです。入り口手前にある観音様がお祭りされているお堂では、「願いを叶えたい」と他市町村からお参りに来られる霊験あらたかな神社ということで、私も早速家内安全を祈願し、大満足の内容！移住は、実際に住んで見ないとわからないことばかりですが、こういったイベントを通じて地元の方と触れ合うことで、不安を軽減することができます！今後、他の地域でも開催予定との事ですので、是非チェックしてみてください♪

ガイドの鈴木氏



＜お問い合わせ先＞
高知ちいさな旅クラブ
代表 鈴木 誠
電話 090-9288-1935

灯台へ続く遊歩道



叶崎灯台

